
2023年12月期 第1四半期 決算説明会

2023年5月10日（水）

 **メック株式会社**

証券CODE:4971

<https://www.mec-co.com/>

2023年12月期 業績予想修正について

第2四半期 連結(累計)業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,500	百万円 800	百万円 850	百万円 600	円 銭 31.56
今回修正予想 (B)	6,000	450	500	300	15.85
増減額 (B - A)	△500	△350	△350	△300	
増減率 (%)	△7.7	△43.8	△41.2	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期第2四半期)	8,127	2,084	2,374	1,661	87.40
通期 連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 3,000	百万円 3,100	百万円 2,200	円 銭 115.72
今回修正予想 (B)	13,500	1,800	1,900	1,350	71.71
増減額 (B - A)	△1,500	△1,200	△1,200	△850	
増減率 (%)	△10.0	△40.0	△38.7	△38.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	16,329	4,004	4,246	3,064	161.22

自己株式取得について

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実および経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行するため。

2. 取得に係る事項の内容

(1)取得する株式の種類	普通株式
(2)取得する株式の総数	300,000株（上限とする） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.56%）
(3)株式取得価額の総額	900百万円（上限とする）
(4)取得期間	2023年5月11日～2023年6月30日
(5)取得方法	東京証券取引所における市場買付

2023年12月期 第1四半期 概況

+ 事業環境

昨年に引き続き個人消費の停滞により、パソコンやスマートフォン、ディスプレイ、タブレットPC等、コンシューマー向け電子機器需要は低調に推移。データセンターの投資も抑制の傾向。

+ 決算概況

前年同期比 減収減益

電子基板・部品業界は、エレクトロニクス業界の影響を受け在庫調整局面にあり、関連する当社製品の受注もその影響を受けた。

+ 主要製品概況

- CZ : パソコンやスマートフォン、タブレットPC、サーバー等のPKG基板需要の低下を受け大きく減少。
- V-Bond : 自動車回復傾向にあるものの半導体不足の影響により減少。
- EXE : 消費マインドの冷え込みや在庫調整等の影響を受け大きく減少。
- SF : 消費マインドの冷え込みや在庫調整等の影響を受け大きく減少。

1 売上： 2,765百万円（前年同期比 30.1%減）
営業利益： 168百万円（前年同期比 83.9%減）

2 為替の影響は前年同期比
売上： 95百万円増、営業利益： 38百万円増

3 薬品売上： 2,712百万円（前年同期比 30.4%減）
出荷量： 7,498t（前年同期比 34.1%減）

4 主要製品売上は前年同期比
V-Bond 12.6%減、 CZ 31.8%減、 SF 35.9%減、 EXE 37.7%減

(単位：円)

	期初想定	2023Q1	2022Q1	2022Q4
N T D	4.37	4.37	4.18	4.40
R M B	19.33	19.33	18.44	19.39
H K D	16.34	17.02	15.00	16.70
T H B	3.69	3.90	3.53	3.73
E U R	136.04	143.34	131.35	137.93
U S D	128.03	133.26	117.12	130.78

- 海外現地法人は、基本的に現地通貨建てでの取引であり、連結会計で円換算する際に、円／現地通貨レートの影響を受ける。
 - いずれも、期中平均レートを採用。
 - 当社の主要外国通貨は、台湾ドル（NTD）、中国人民幣元（RMB）。
 - 各通貨に対して想定レートから0.1円変動する場合の影響額は次のとおり。
 - NTD：（売上）14百万円（営業利益） 8百万円
 - RMB：（売上） 3百万円（営業利益） 1百万円
- *いずれも、当期Q1実績

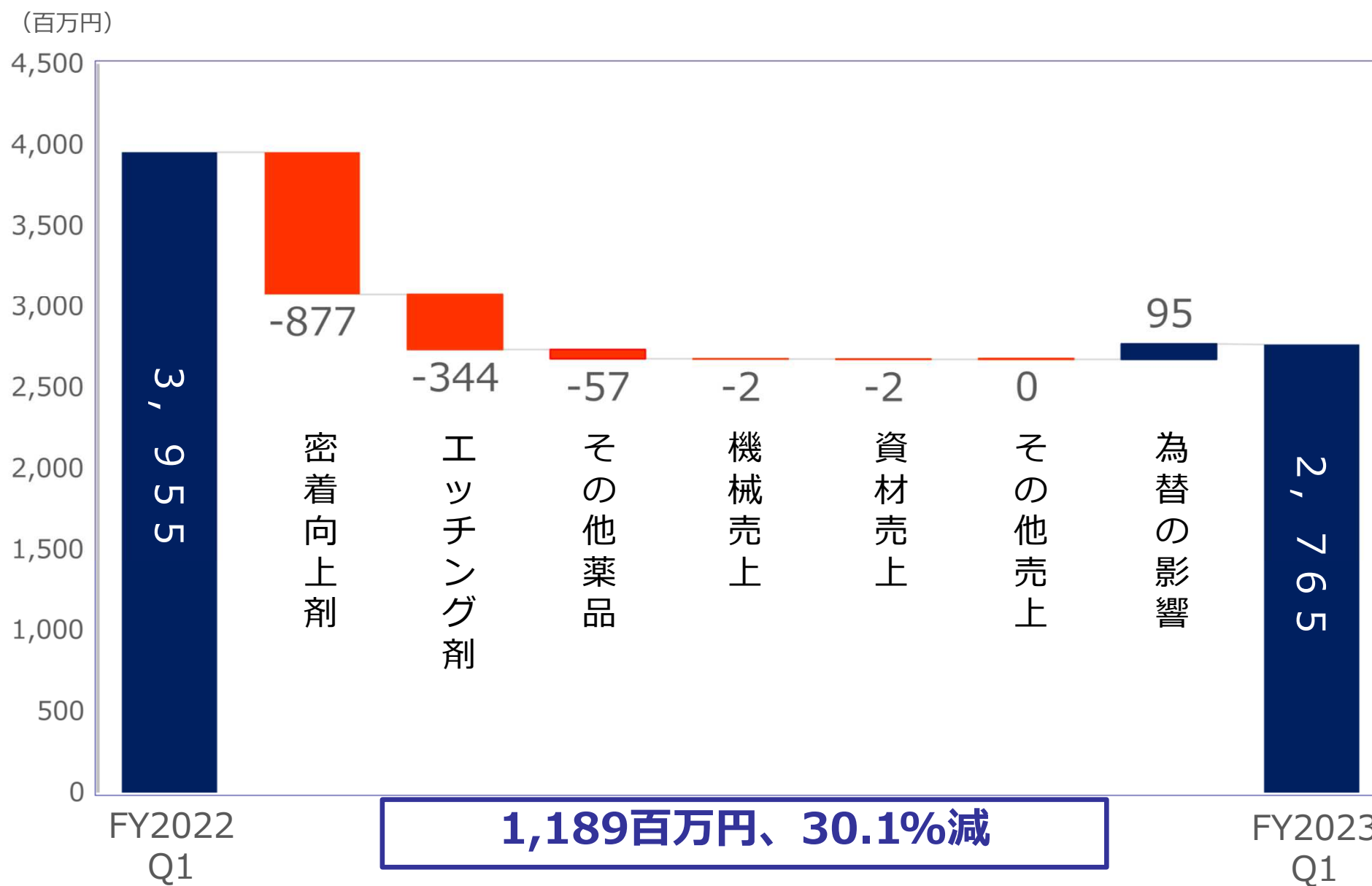
2023年12月期 第1四半期 業績概要



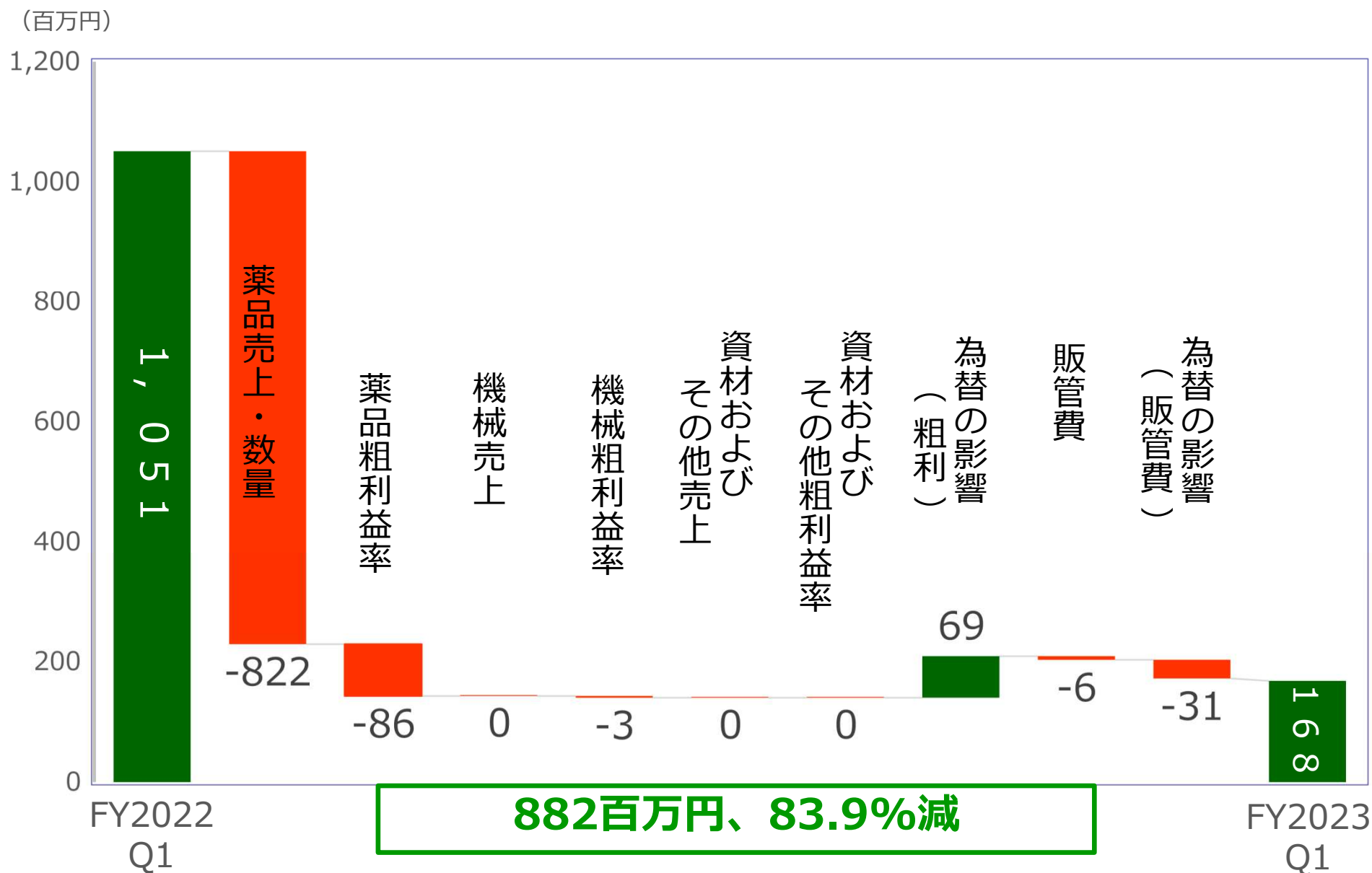
(単位：百万円)

項目	第1四半期						通期		
	FY22.12 Q1		FY23.12 Q1				FY22.12	FY23.12	
	(実績)	進捗率	(実績)	進捗率	前年同期比		(実績)	(予想)	前期比
売上高	3,955	24.2%	2,765	20.5%	△1,189	△30.1%	16,329	13,500	△17.3%
薬品売上高	3,898	-	2,712	-	△1,185	△30.4%	16,042	-	-
売上総利益	2,428	-	1,583	-	△845	△34.8%	9,803	-	-
売上総利益率	61.4%	-	57.3%	-	-	-	60.0%	-	-
販売費及び一般管理費	1,377	-	1,414	-	37	2.7%	5,799	-	-
売上高比率	34.8%	-	51.2%	-	-	-	35.5%	-	-
営業利益	1,051	26.3%	168	9.4%	△882	△83.9%	4,004	1,800	△55.1%
営業利益率	26.6%	-	6.1%	-	-	-	24.5%	-	-
経常利益	1,186	27.9%	223	11.8%	△963	△81.2%	4,246	1,900	△55.3%
経常利益率	30.0%	-	8.1%	-	-	-	26.0%	-	-
税引前当期利益	1,185	-	219	-	△966	△81.5%	4,224	-	-
当期純利益	793	25.9%	82	6.1%	△711	△89.6%	3,064	1,350	△55.9%
EBITDA	1,365	-	403	-	△962	△70.5%	4,989	-	-
1株当たり当期利益 (円)	41.76	-	4.32	-	-	-	161.22	71.71	-
1株当たり配当金 (円)	-	-	-	-	-	-	45.00	45.00	-

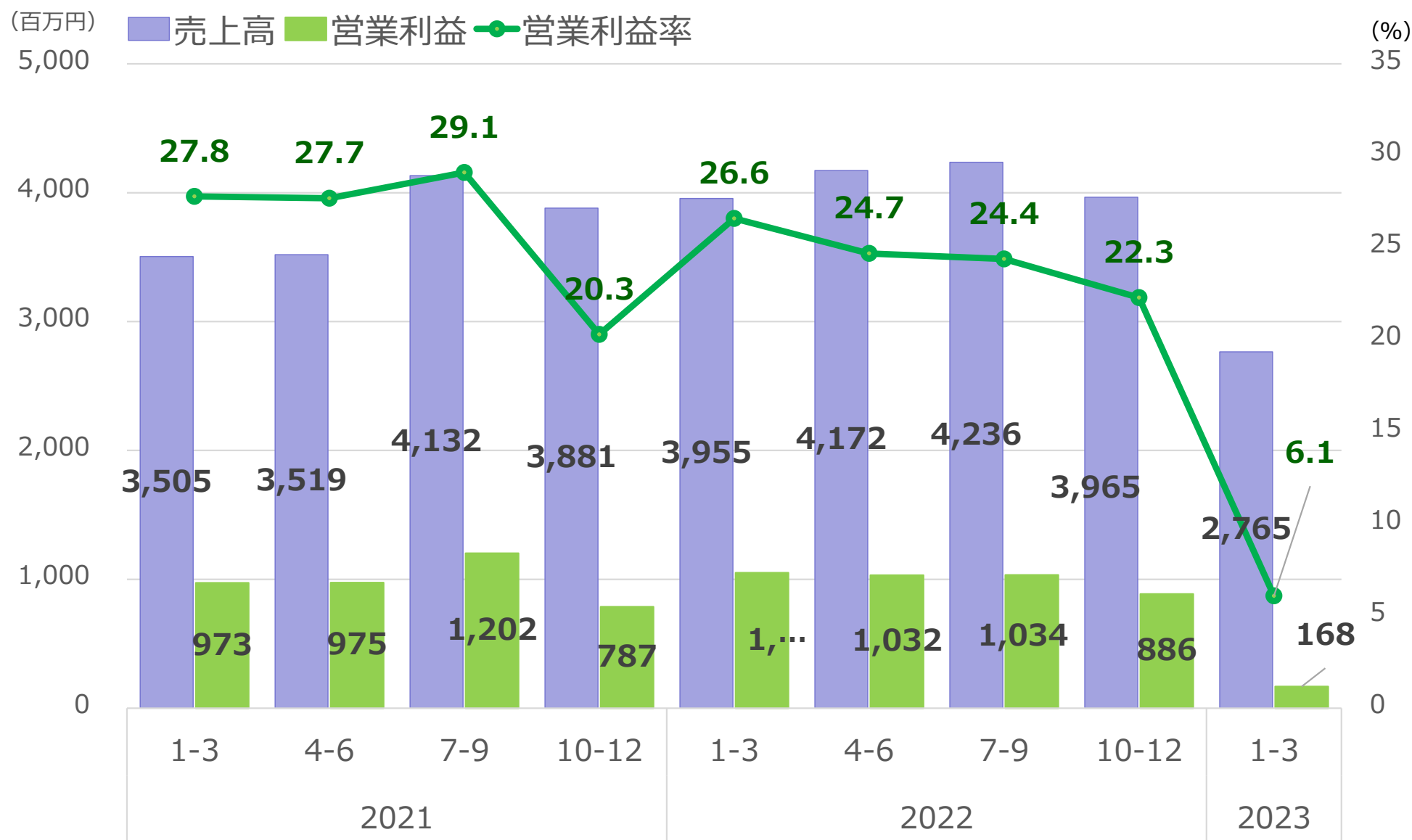
連結売上高前年同期比分析



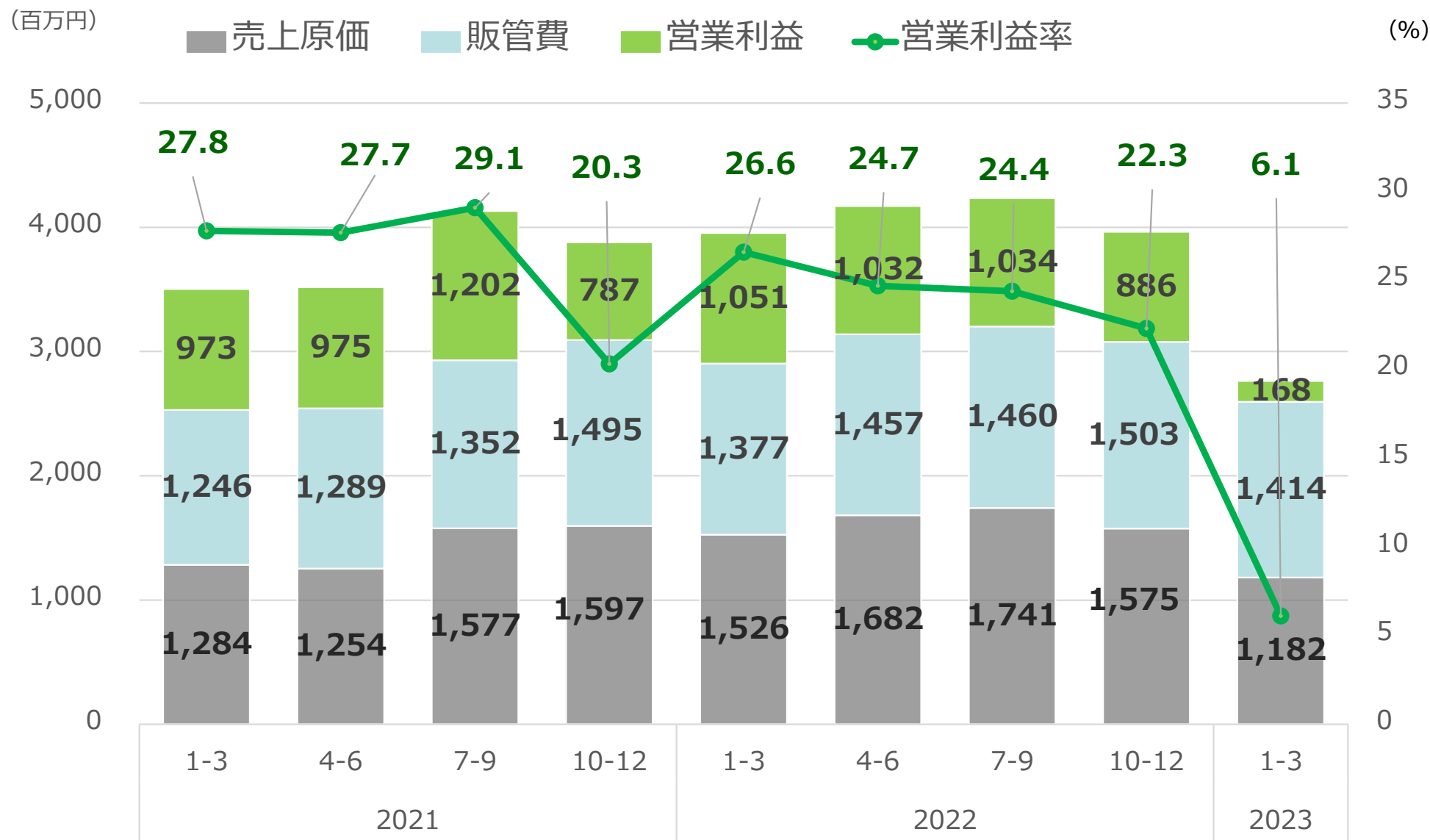
連結営業利益前年同期比分析



連結売上高と営業利益/営業利益率

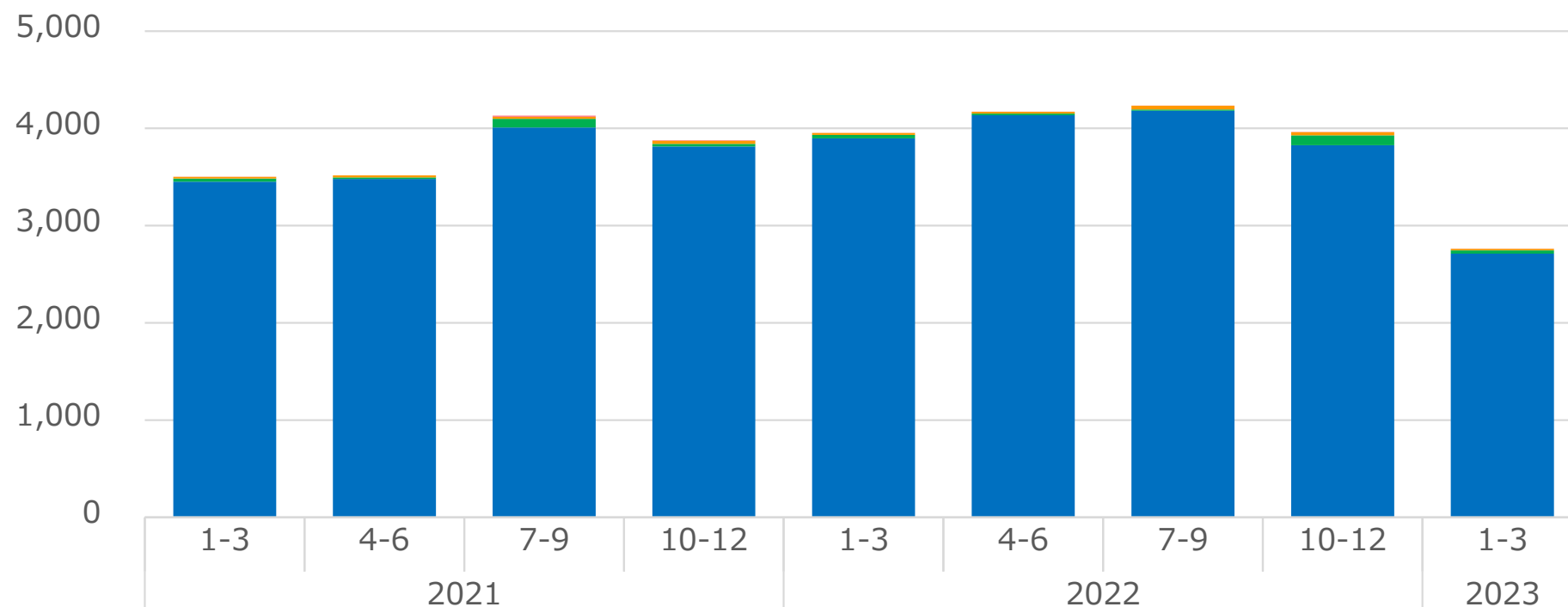


連結損益構造



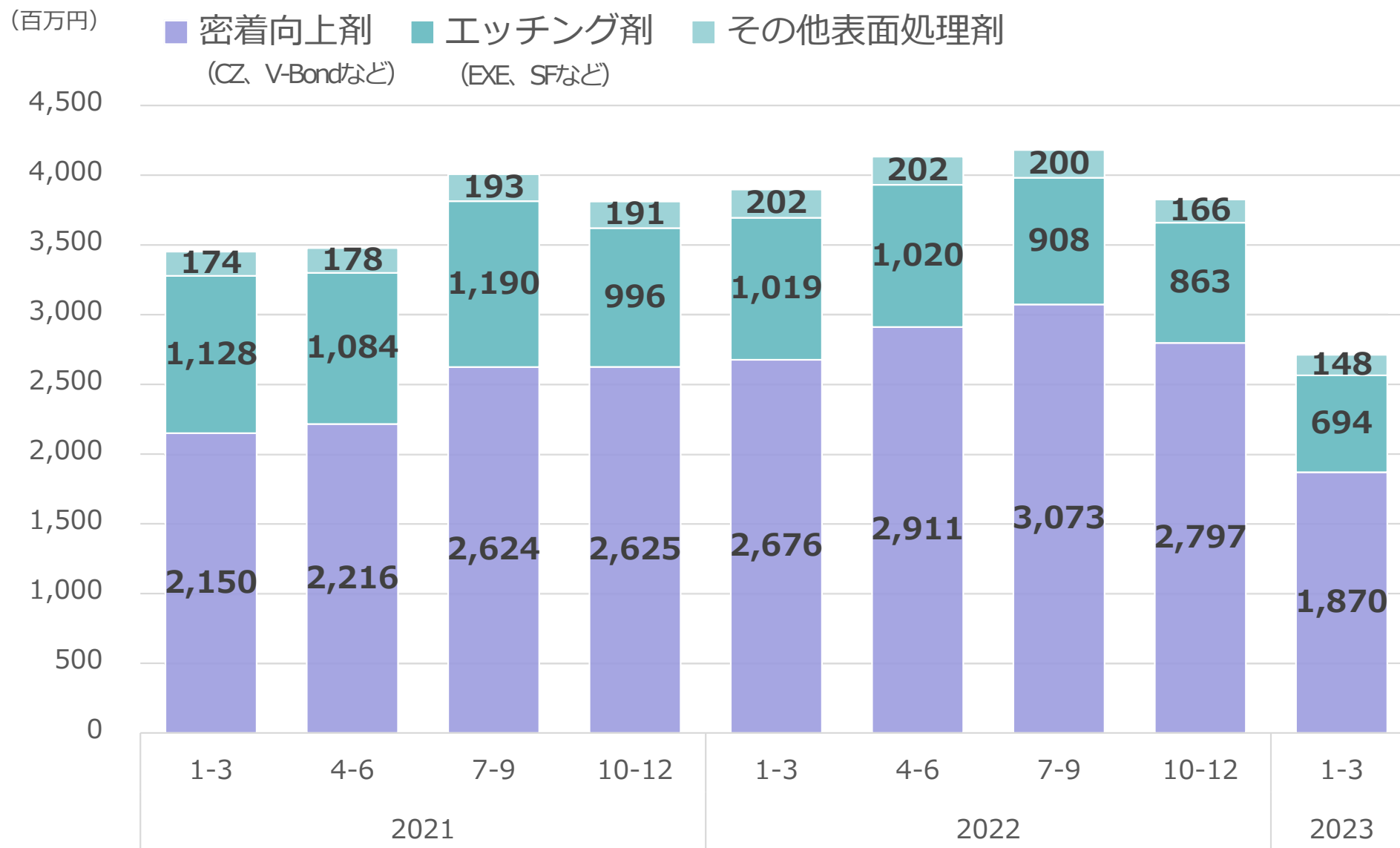
連結品種別売上高

(百万円) ■ 薬品 ■ 機械 ■ 資材 ■ その他

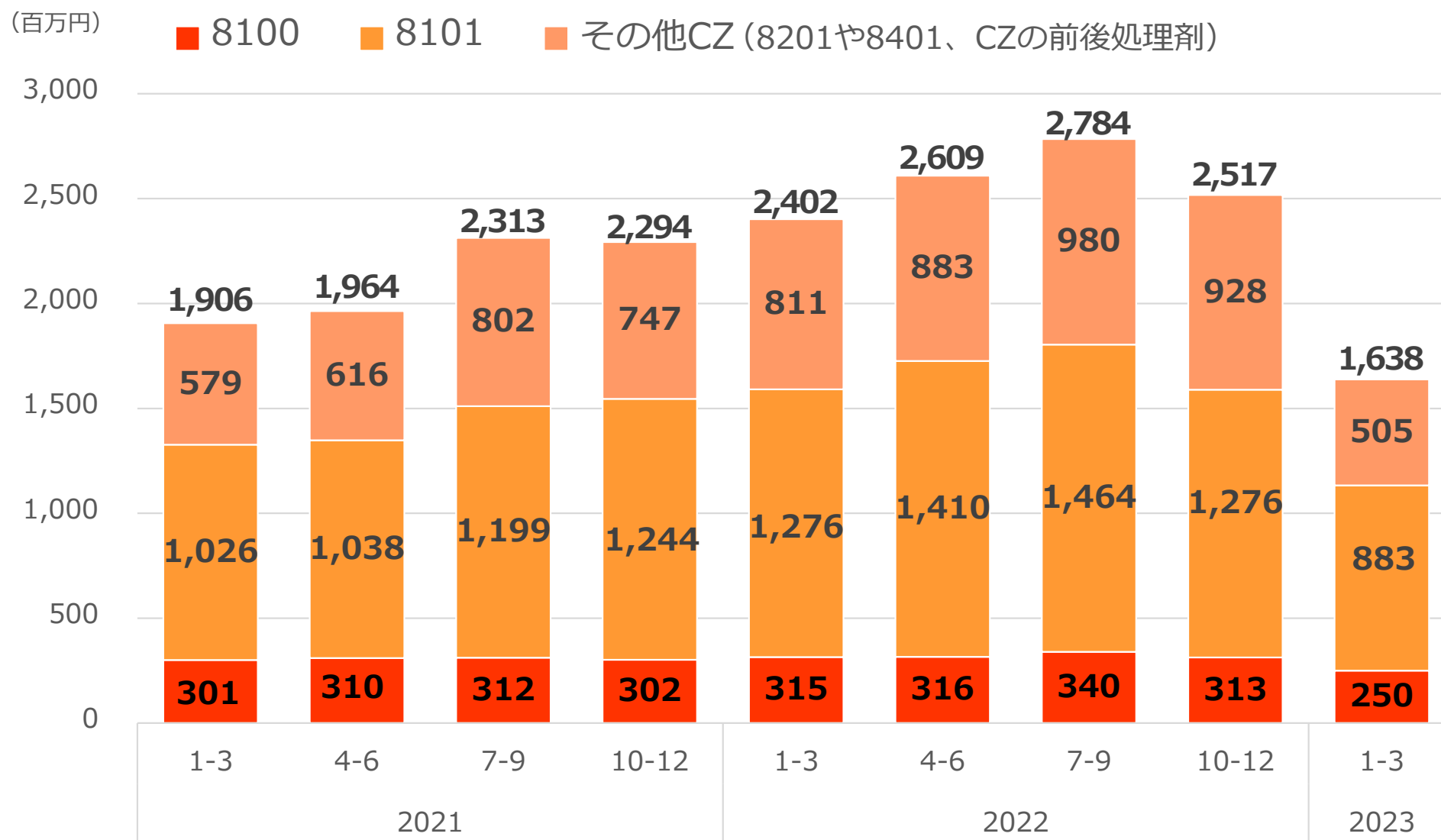


	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	2021				2022				2023
■ その他	2	0	13	6	1	1	1	3	1
■ 資材	16	21	19	33	18	19	38	31	16
■ 機械	33	16	90	27	36	17	13	102	34
■ 薬品	3,452	3,480	4,008	3,814	3,898	4,134	4,181	3,827	2,712

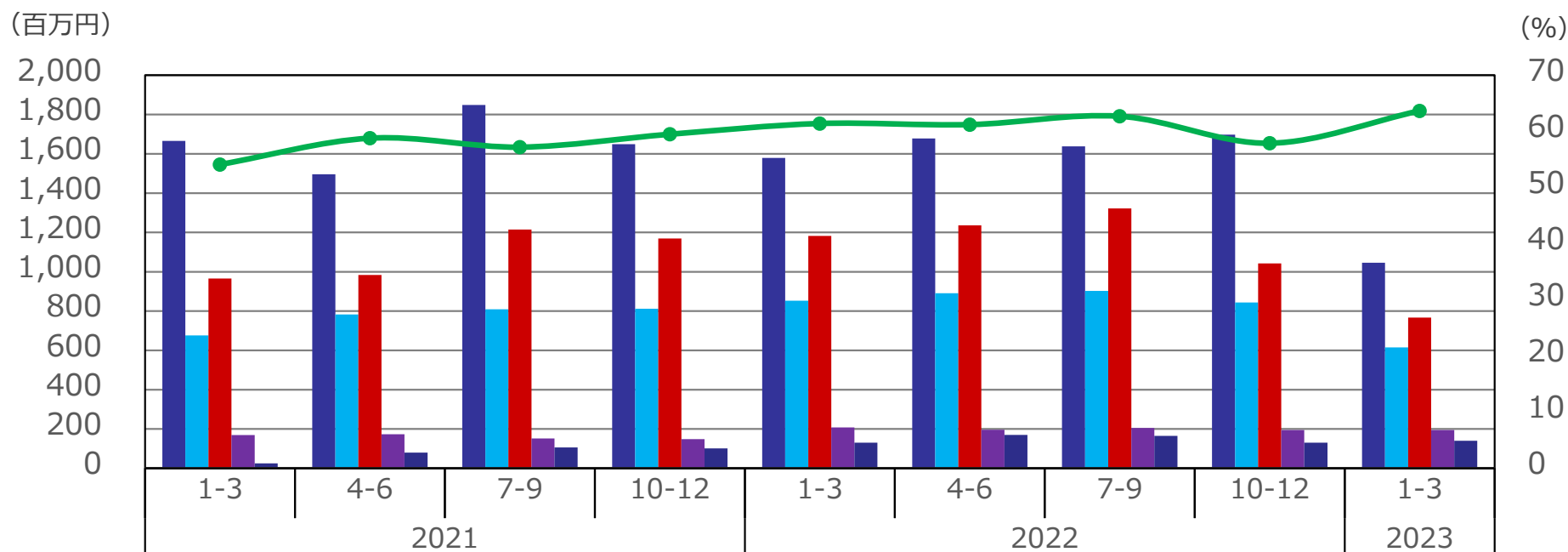
連結薬品別売上高



CZシリーズ売上高



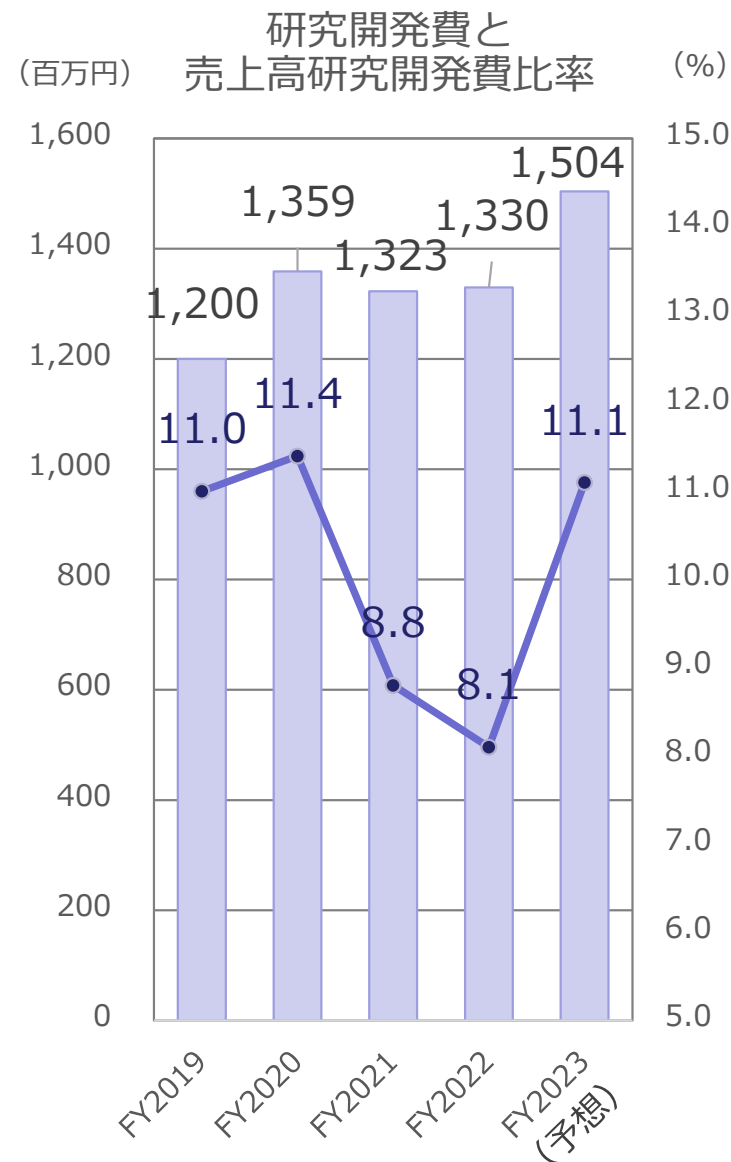
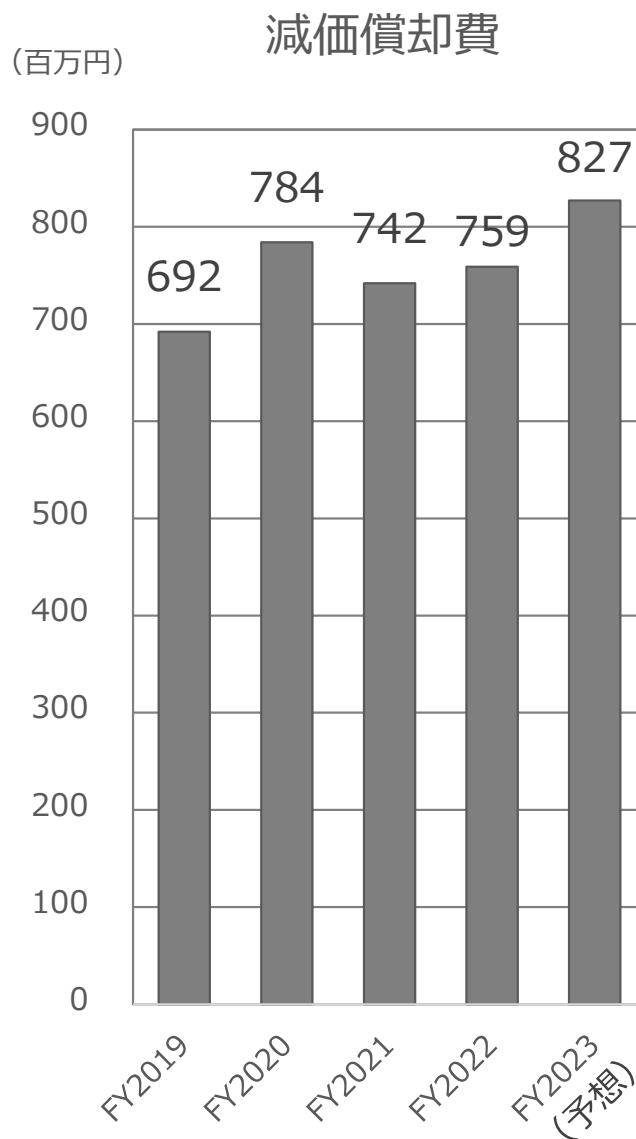
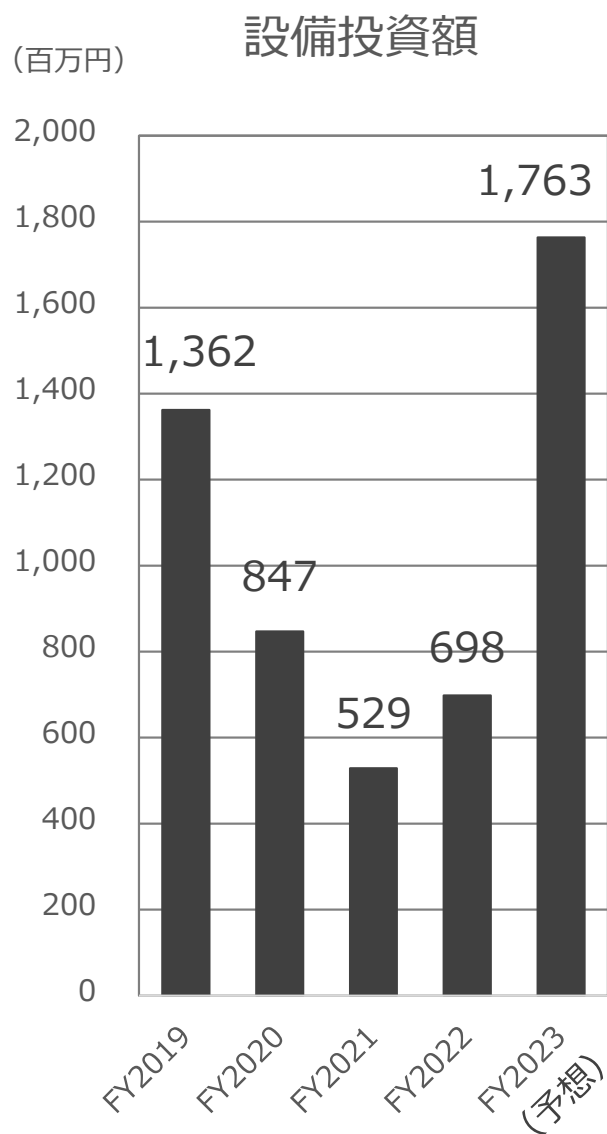
地域セグメント別売上高



■ 日本	1,666	1,496	1,849	1,649	1,579	1,678	1,638	1,698	1,046
■ 台湾	676	783	809	812	853	891	903	844	615
■ 中国	966	984	1,215	1,169	1,182	1,236	1,322	1,043	767
■ 欧州	169	173	152	148	208	196	205	195	195
■ タイ	25	80	106	101	130	170	165	130	140
● 海外売上高比率	54.1	58.8	57.2	59.5	61.4	61.2	62.7	57.9	63.7

・ 当社薬品海外使用分の国内代理店販売を海外売上高に加算した場合の比率は72.5% (前年同一期間は79.0%)。

設備投資額と減価償却費、研究開発費



今後の見通し

主要薬品用途と最終製品例

主要薬品	特徴	最終製品例
超粗化系密着向上剤 「CZシリーズ」	主にPKG基板向けの密着向上剤。銅と樹脂との密着性を高める銅表面処理剤。	5G関連・データセンター等のインフラ、パソコン・スマートフォン・タブレットPC等の高機能デバイス等
多層電子基板向け密着向上剤 「V-Bondシリーズ」	多層基板向けの密着向上剤。銅と樹脂との密着性を高める銅表面処理剤。PKGには使用されない。	スマートフォン・クルマ等
異方性エッチング 「EXEシリーズ」	COF基板向けのエッチング剤。サブトラで微細配線形成ができる。	テレビ・パソコンのモニター等
選択エッチング銅除去剤 「SFシリーズ」	銅への選択性を持ったエッチング剤。	タブレットPC等

④ 事業環境

- ・短期的は、調整局面にある半導体市況や個人消費停滞等の影響を見込む。
- ・中長期的には、IoTやAI、5G、クルマの電動化やDX・GXの進展等の技術の広がりを背景に技術革新が進み、当社関連市場の拡大が進む。
- ・特に高まる半導体需要によるPKG基板の増加、超高密度化や超高周波化により関連する「CZシリーズ」、「化学密着向上剤」需要の伸びを見込む。

④ 主要製品

- CZ : 短期的には半導体市況停滞の影響を受けるが、
中長期的にはPKG基板の増加、大型・高多層化等により需要拡大。
- V-Bond : 短期的にはクルマは回復基調だが半導体不足の影響を、
スマートフォンは個人消費停滞に伴う需要低迷の影響を受ける。
- EXE : 短期的にはディスプレイの在庫調整の影響を受ける。
- SF : スマートフォン向けは技術変化により減少し、
タブレットPC向け需要は継続する。

超高密度
超高周波



最先端品 化学密着向上剤 APシリーズ

先端品

CZ-8401×化学密着向上剤 APシリーズ

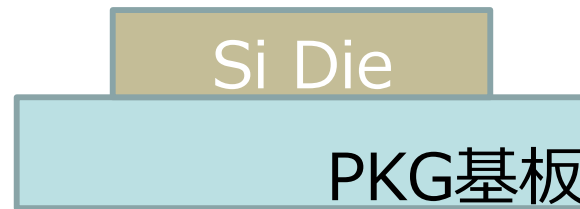
CZ-8201

CZ-8101

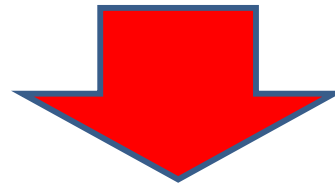
汎用品

CZ-8100

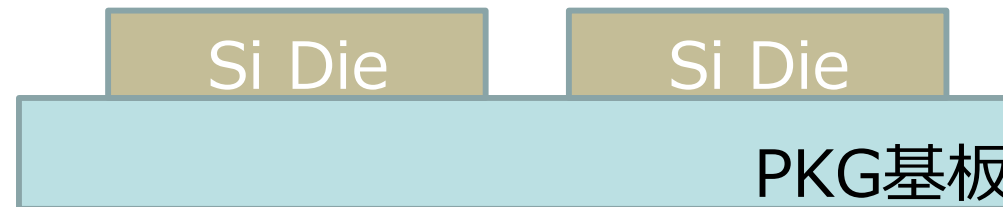
通常のPKG



一つのPKGに
一つの半導体



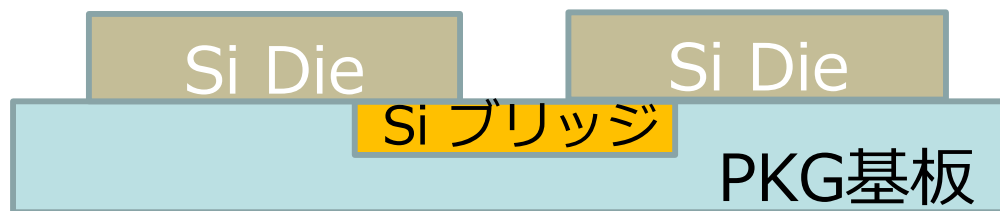
Chiplet



PKGを大きくして
複数個の半導体を搭載

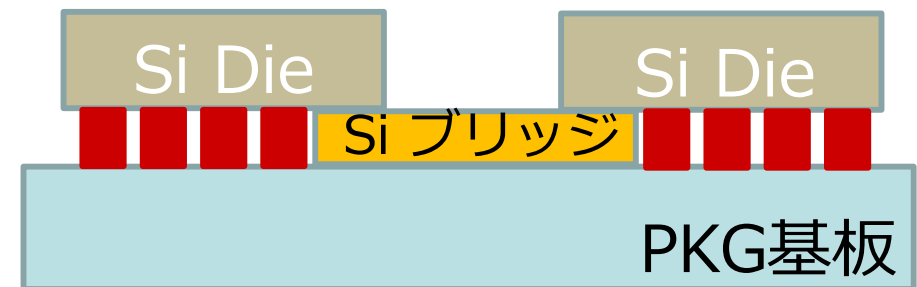
EMIB

(Embedded Multi-die Interconnect Bridge)



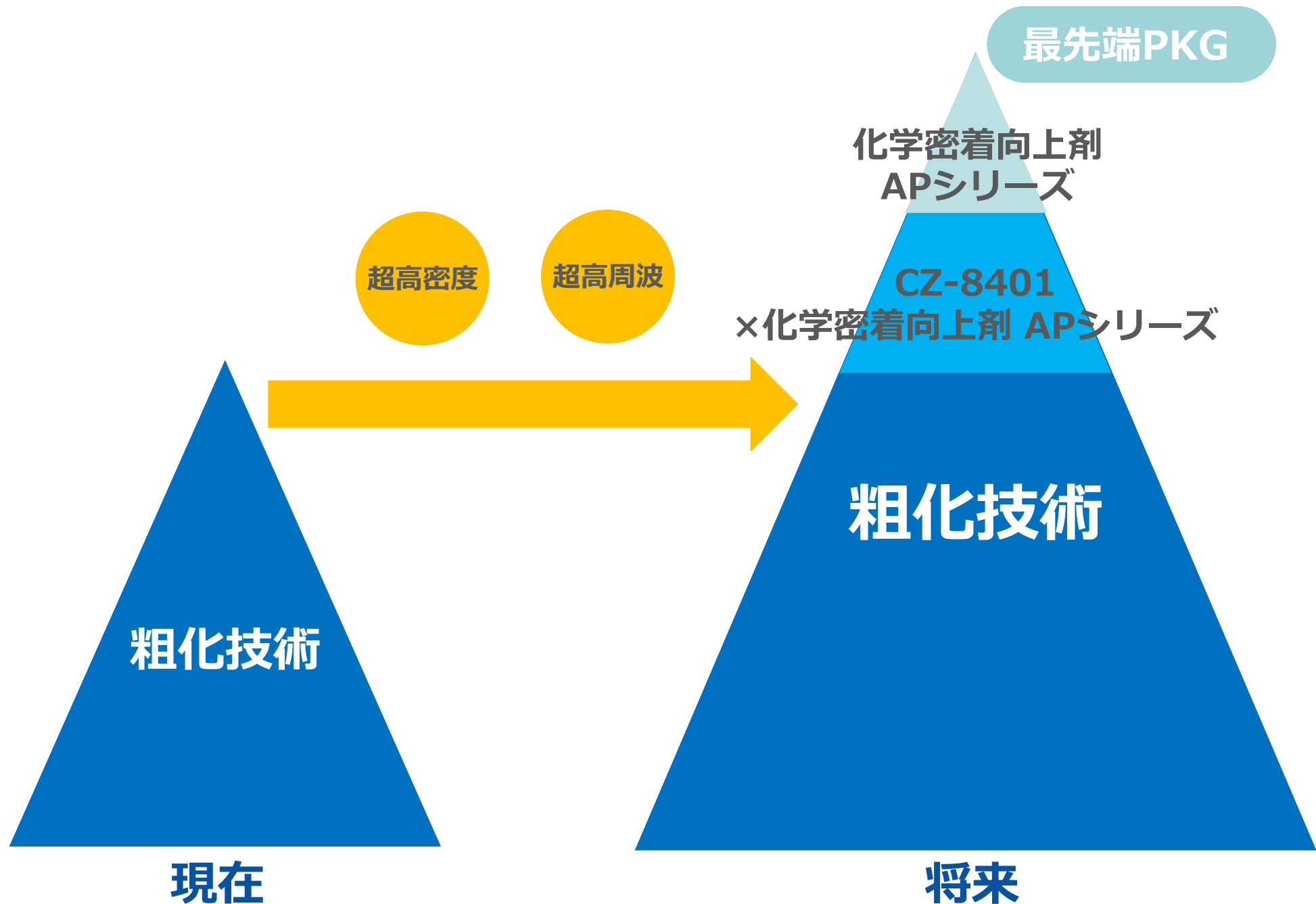
EFB

(Elevated Fanout Bridge)



■ 銅ピラー

PKG基板サイズの大型化、層数の増加が見込まれる。



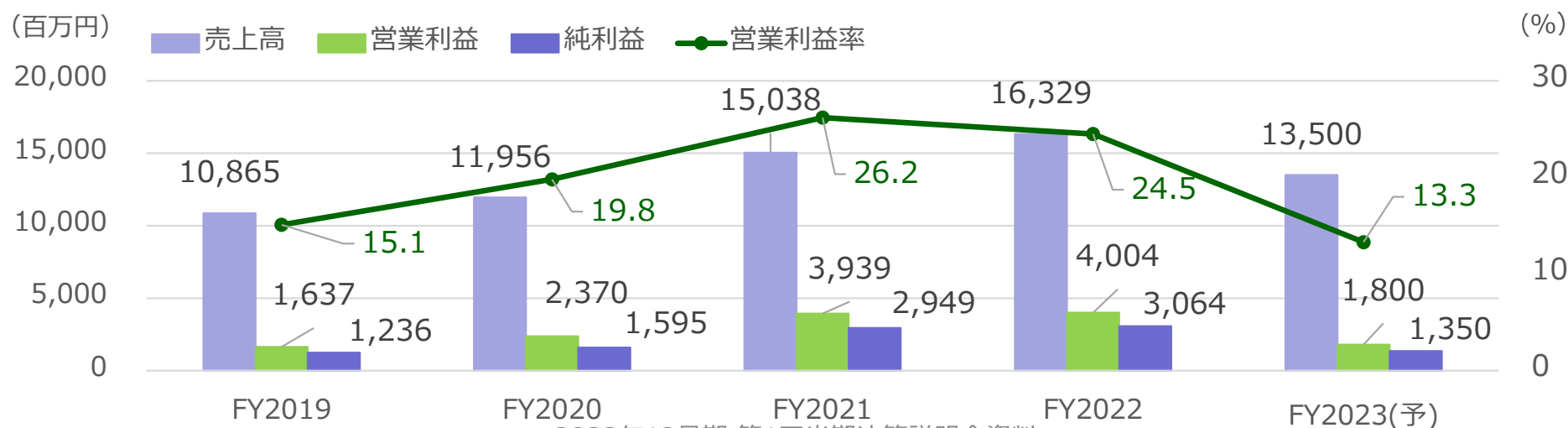
新拠点について



所在地	福岡県北九州市若松区向洋町 10 番
敷地面積	29,889 m ²
着工時期	2023 年 10 月（予定）
総投資額	約 40 億円（土地取得費含む）
投資計画	自己資金および負債調達による充当（予定）
生産能力	約 30,000t/年（予定）
新規雇用従業員数	10～20 名（予定）
稼働開始時期	2025 年 1 月（予定）

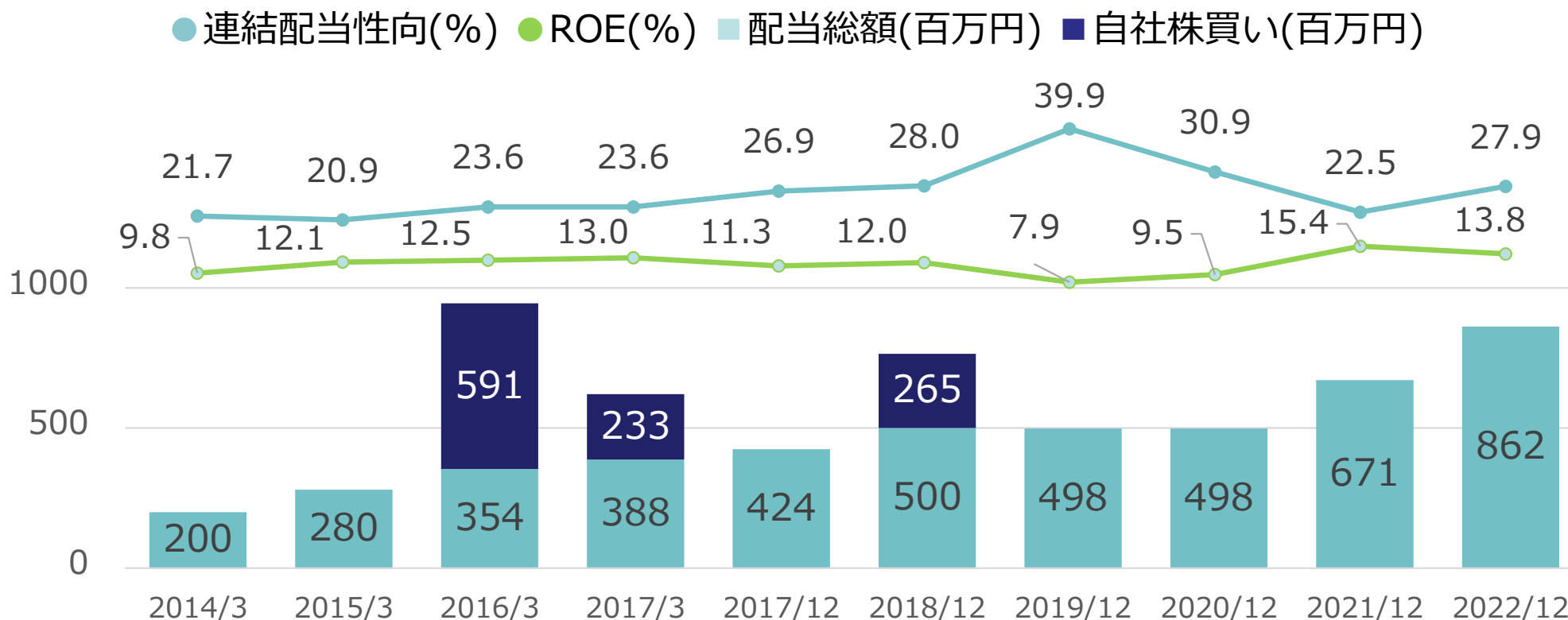
2023年12月期 連結業績予想

	FY2022		FY2023					
			5/10 修正					
	百万円	利益率 (%)	1H			Full-year		
			百万円	利益率 (%)	増減率	百万円	利益率 (%)	増減率
売上高	16,329	-	6,000	-	26.2%減	13,500	-	17.3%減
営業利益	4,004	24.5	450	7.5	78.4%減	1,800	13.3	55.1%減
経常利益	4,246	26.0	500	8.3	78.9%減	1,900	14.1	55.3%減
純利益	3,064	18.8	300	5.0	81.9%減	1,350	10.0	55.9%減
1株当たり純利益(円)	161.22	-	15.85	-	-	71.71	-	-



2023年12月期 第1四半期決算説明会資料

配当金総額と連結配当性向、ROEの推移



④ 配当性向

中期目標 連結配当性向 30%

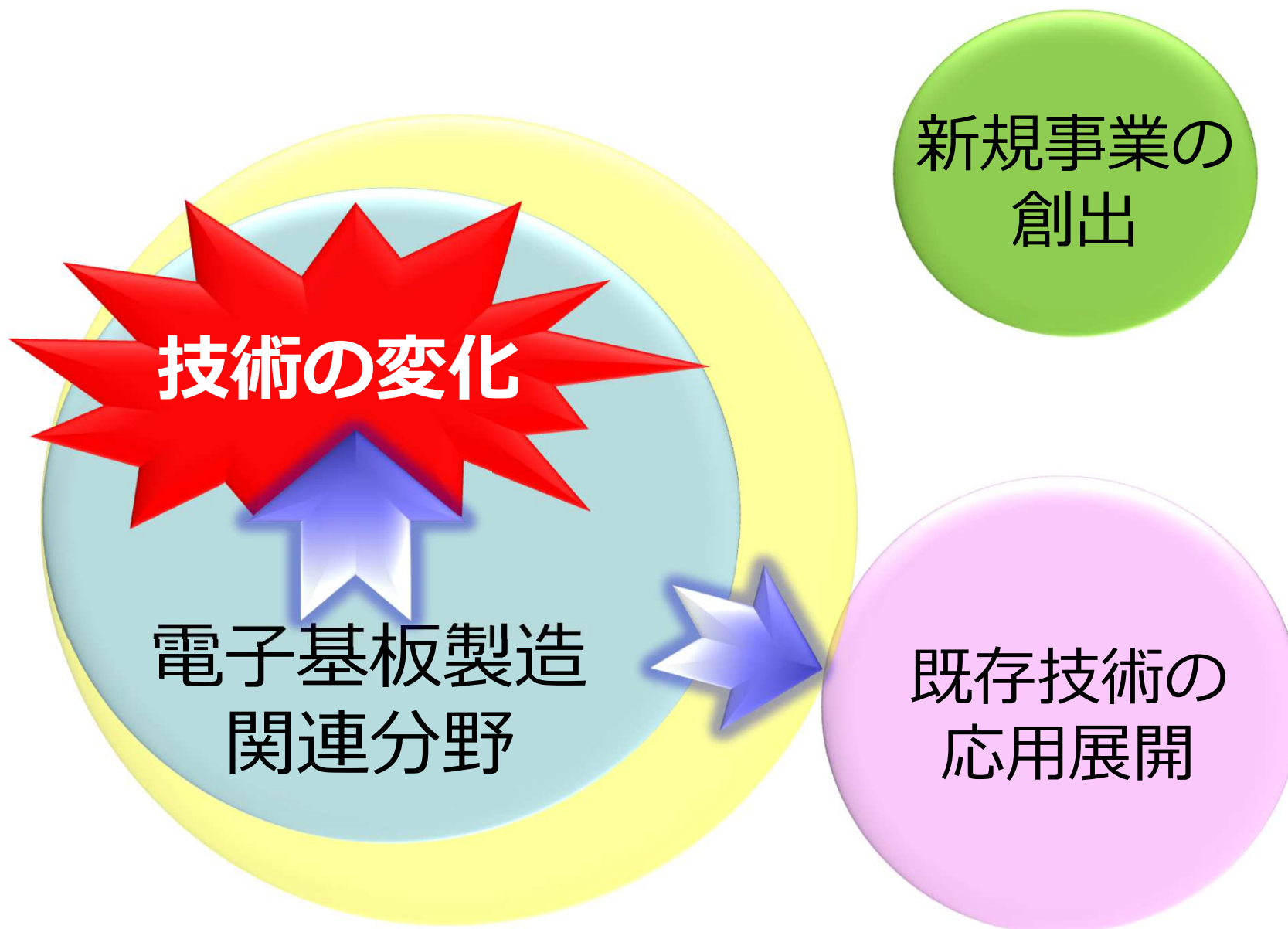
④ ROE

2024年目標 10%以上

④ 2023年12月期 配当予想

45.0円 (中間 20.0円、期末 25.0円、連結配当性向62.8%)

* 2022年12月期実績 : 45円 (中間20.0円、期末25.0円)



參考資料

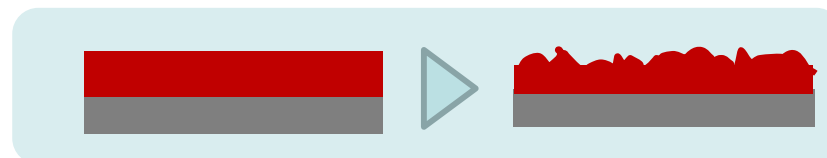
(2022年12月31日現在)

社名	メック株式会社 MEC COMPANY LTD.
本社所在地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号
設立年月日	1969（昭和44）年5月1日
主な業務内容	電子基板・部品製造用薬品の開発・製造販売 及び 機械装置、各種資材の販売
代表者	代表取締役社長 前田 和夫
資本金	5億9,414万2,400円
連結売上高	163億29百万円
上場市場	東証プライム市場（4971／化学セクター）
従業員数	連結438名、単体253名

界面価値創造

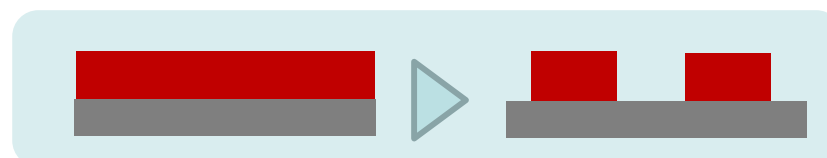
- **表面を粗化し、機械的に密着性を向上**

CZ、V-Bond



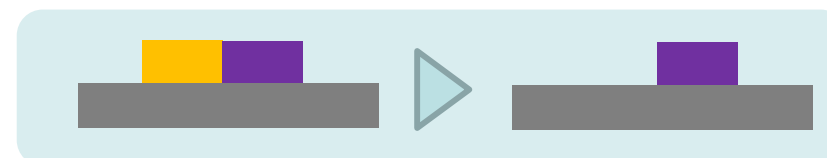
- **配線を形成する**

EXE

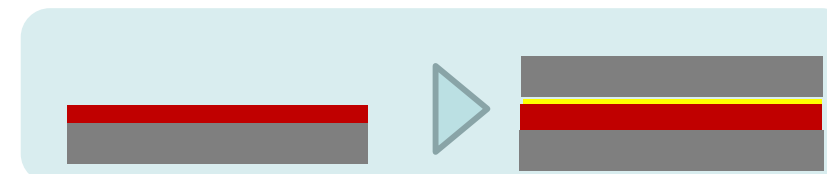


- **選択エッチング**

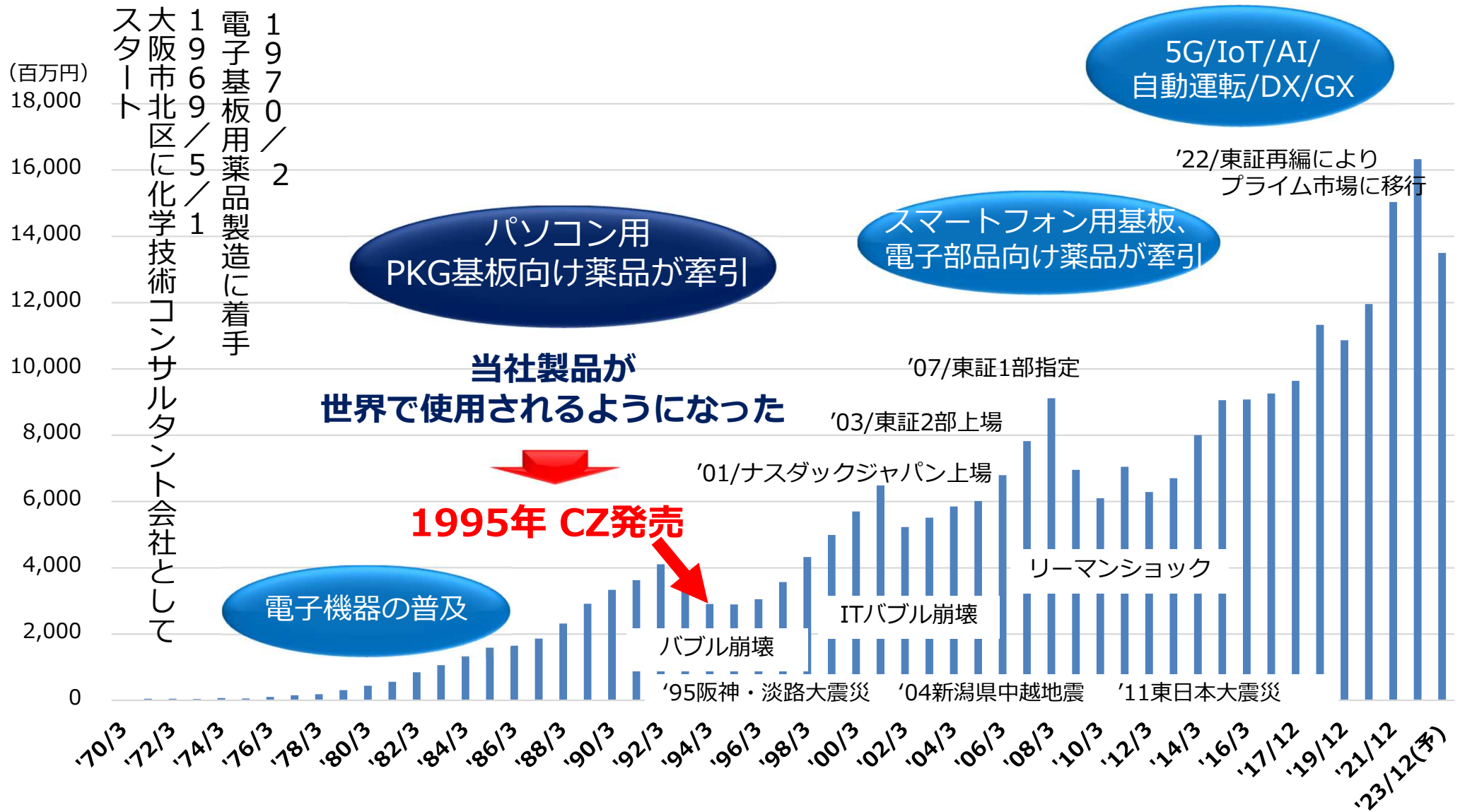
SF



- **表面を処理し、化学的に密着性を向上**



創業からの売上推移





尼崎工場（少量多品種）
900 t /月



長岡工場（量産工場）
2,200 t /月



メック台湾
1,200 t /月



メック中国（蘇州）
450 t /月



メック珠海
1,000 t /月



メックヨーロッパ
400 t /月



メックタイ
500 t /月

界面価値創造

Creating and Fostering Value at Various Interfaces

このプレゼンテーション資料には、2023年5月10日現在の将来に関する予測が含まれております。記述している将来予測および業績予測は、当社が現時点で入手できる情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知ください。

